



小さな声を形に！伊藤こうへい通信

令和2年第1回定例会 一般質問より

令和2年2月18日から3月16日にかけて、令和2年度の予算を決める定例会が開催され、地域の課題などを一般質問しましたのでご報告いたします

質問1 高齢者の移動手段の確保並びに安全運転支援について

新たな移動手段としてITを活用した乗客とドライバーをマッチングさせるライドシェアサービスなどの可能性について当局の見解は。

(答弁) 昨今、海外において急速に普及していることから、国内でも各地でタクシー会社との連携による実証実験等が行われております。

また、スマートフォン等のモバイル機器の普及により、正確で素早いマッチングが可能となったことや、近年の人口減少・超高齢化の進展、路線バスやタクシー等の運転手不足等の社会状況の変化により、公共交通を補完する移動手段となる可能性は認識しておりますが、道路運送法上の課題があるとされているため、国の動向や国内各地で行われている実証実験等の情報を収集・整理するなど、調査して参りたいと考えております。

本市としてもサポカー補助金制度に関して前向きに取り組むべきと考えるがどうか、また、本市の現状をどのように捉えているのか

(答弁) 国では、今年度補正予算において「サポカー補助金」として、65歳以上の高齢運転者等を対象に、対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置が搭載された安全運転サポート車の購入と、後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置に対する設置に対応する補助制度を創設し、今月9日から申請の受付が開始されたところです。

本市としては、この補助制度について、市ホームページや高齢者向け交通安全講話などにより周知を図り、安全装置の普及につなげて参りたいと考えております。



CHECK



- スマートフォン手配・決済が可能な新たなモビリティサービスの推進。
- 運行情報などオープンデータ化を推進することによる事業者・利用者の利便性の向上。
- 国のサポカー補助制度の周知啓発に努めることと市民にとって前向きな取り組みとなるよう求めます。

のための物品保管場所などについて、協議を行っているところです。今後の幸老人センターの方向性については、大規模団地対策として設置された所期の役割を終えたことから、来年度末に廃止することとしておりますが、現在行われているサークル活動や地域活動については、生きがいづくりや介護予防、さらには地域での支え合いなどの視点からも重要であることは認識しております。



幸老人センター

幸第二保育所の土地に、新たな地域拠点を設けることで、課題解決につながると考えるが、その後の土地利用も含めて見解を伺う

(答弁) 幸第二保育所の土地は、保育所としての利用を条件にUR都市機構から無償で貸与されているものであり、第二保育所解体後は返還することとなります。

なお、返還後の土地利用については、UR都市機構において、団地再生の方針の中で検討がなされると認識しておりますが、UR都市機構に対し、地域の活動拠点となるスペースを確保してもらえよう、要望して参ります。

休止後の旧幸町第二小学校敷地内の子どもルームの地域やスポーツ振興の場所としての利活用について

(答弁) 町内自治会など地域団体からご要望があれば、「幸町地区学校跡施設利用方針」が決定されるまでの暫定利用になりますが、施設の有効活用の観点から、子どもルームの需要を見極めながら、地域活動などの拠点としての利活用について検討して参ります。

CHECK



- 幸町団地内の土地利用に関して、地域に還元する活用となるよう要望。
- 幸第2保育所跡地に地域ルーム等施設を整備するよう要望。

地域実績

○幸町公民館エレベーター設置

令和2年度予算に工事費計上

平成31年第1回定例会で求めた幸町公民館EV設置。

令和元年度に設計が完了し、令和2年11月頃着工予定。

この間、子ども達の学習場所の確保など教育委員会に申し入れました。令和3年3月末の供用を目指しています。



幸町公民館

質問2 美浜区地域の諸問題について

幸老人センターについて

UR都市機構との調整や協議などはしてきたのか、これからの幸老人センターの扱いに関しての方向性はどのように考えているか

(答弁) UR都市機構とは、幸老人センター廃止後の地域活動の場として、UR都市機構が管理する中央集会所の通年利用や地域活動

千葉みなと駅交差点付近京葉線高架下の交通安全対策について

交通ルールを無視した危険運転への対応も含めた、通学路の安全対策について

(答弁) 当該交差点付近の交通量や状況を確認したところ、特に朝の通勤・通学の時間帯で、幸町と新港を行き交う歩行者や自転車の交通量が非常に多く、歩道内や交差点内で両者が交錯している状況が見受けられましたので、児童などの歩行者の安全を確保していく必要があると考えております。

また、危険運転への対応については、千葉県警察、交通安全協会等の関係機関と連携し、自転車や自動車の運転者に対して、直接呼び掛けを行うキャンペーンを実施するとともに、悪質な運転者の取締り強化を行うよう要請して参ります。



千葉みなと駅交差点付近

L字ブロックの段差を解消し、JRが所有する京葉線高架下の橋桁付近までと民間事業者の土地の一部を借用または買収し、可能な限り幅員を拡張することが有効と考えることについて

(答弁) 当該区間の歩道の拡幅にあたっては、水路や京葉線の橋脚など物理的な制約があることから、歩車道境界ブロックなどの改良や可能な範囲内で隣接地を一部借用することなどが有効な手段であると考えております。

このことから、今後、具体的な拡幅手法について検討するとともに、JR東日本など関係者と協議・調整をして参ります。

CHECK



■無謀な運転者への対策や横断歩道では歩行者が優先であることなど周知啓発に努め、歩行者の安全対策に取り組まれるよう要望。

■横断歩道の拡幅工事の早期対応を要望。

打瀬地域のごみ処理問題について

工期短縮に向けた今後の対策について

(答弁) 県が実施したタウンセンター地区の廃棄物空気輸送管閉塞工事の関係図書など既存データを活用し、現在、どのような復旧方法が最適かを定めるための基本設計業務を行っており、2月中旬に完了する予定です。

来年度早々、実施設計業務の発注手続きを進めていくにあたり、地質・埋設物の調査が必要になることから、実施設計と一体的に発注し工期の短縮ができないかなど検討するとともに、設計終了後も速やかに工事発注の手続きを進め1日でも早い復旧を目指して参ります。

なお、今回の輸送管の補修につきましては、埋立て地の軟弱地盤を6m以上掘削する必要がある見込まれ、地下水も湧いてくるなどの状況

があり、実施設計を行わなければ予定価格及び工期を算定できず、設計と工事を一体として発注することは困難です。



幕張クリーンセンター

公共内地域を一時利用するなど、カラス対策にも配慮したごみステーションを設置することへの見解について

(答弁) この地域は、マンション敷地内のごみステーションを設置することを想定していないため、収集車両が臨時的に設置されたごみステーションの近くまで侵入できず、管理人や住民が排出したごみを収集車両が入れるところまで運搬することが大きな負担となっているケースもあるなど、街区ごとに様々な課題があることは認識しております。

これまで、住民、管理人及び収集業者との調整により、一部は改善しておりますが、今後も引き続き、住民の皆様と意見交換を行いながら、カラス対策や新たなステーション設置など、街区ごとに異なる課題を整理したうえで、状況に応じた対策を検討して参ります。

工事期間中の維持管理にどのような対応が必要なのか

(答弁) 本輸送設備の長期間停止により、各街区の設備に不具合が生じることを未然に防止するため、配管の穴開き箇所を応急的に修繕し、停止期間中についても試運転を行い、円滑に作動しているか定期的に確認して参ります。

また、街区側の設備については一部、本市側で作動状況を確認できませんが、経年劣化の状況などはわからないため、マンション管理組合に対し、これまで契約しているメンテナンス会社と相談のうえ、必要な点検を実施し適切な維持管理をしていただきたい旨、お知らせして参ります。

CHECK

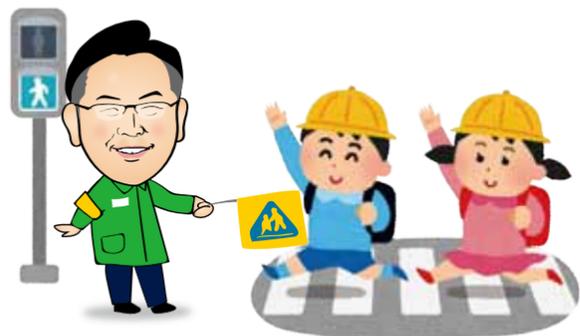


■復旧スケジュールや懸案事項の回答は書面で説明すること。

■復旧工期のさらなる短縮とベイタウンのコンセプトを維持しつつ、将来の修繕計画のあり方についても検討し取り組まれるよう要望。

地域実績

「信号が短く低学年児童が渡りきれず、危険」との住民の方や、学校の先生からの相談があり、子供たちの通学安全を考慮しました。



○若葉地区児童の打瀬小学校への通学における安全のためにJR京葉線高架下信号の時間を調整しました。

市政に関するご意見ご要望をお寄せください。

千葉市議会議員

伊藤こうへい

〒261-0001 千葉市美浜区幸町 2-6-1-408

Tel/Fax.043-301-3841

<http://www.komei.or.jp/km/chiba-ito-kohei/>

<https://www.facebook.com/kohei.ito.906>